

松山市社会福祉協議会の取り組み

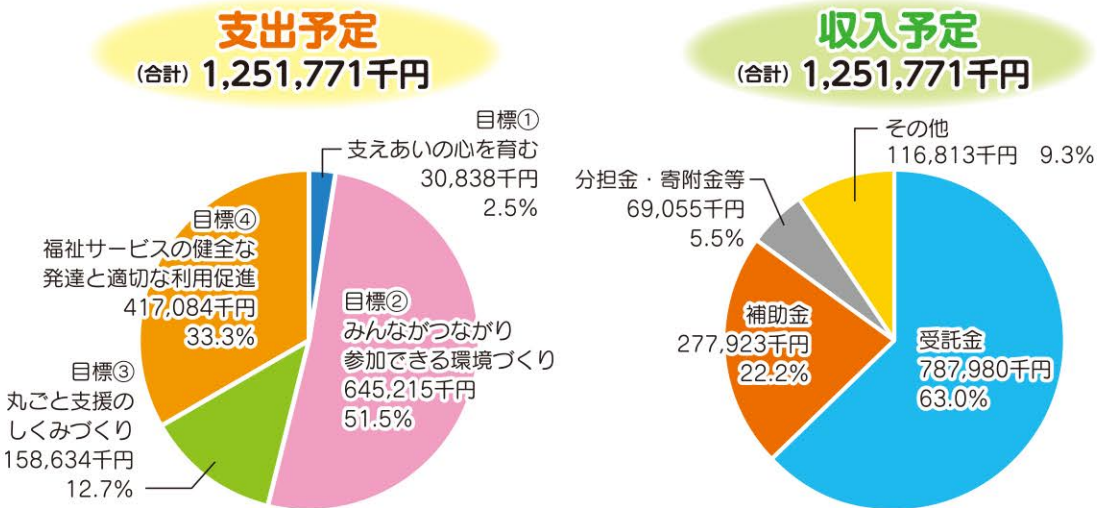
松山市社会福祉協議会では、松山市の地域福祉計画と一体となった「このまちのえがおプラン」を策定し、**「みんながつながる 支える まちづくり」**を基本理念に4つの目標を掲げ、誰もが暮らし続けたいと思えるまちづくりを目指しています。

令和4年度 事業計画

令和4年度は「第4期地域福祉活動推進計画」(このまちのえがおプラン)に基づき、引き続き「みんながつながる 支える まちづくり」を基本理念に掲げ、地域福祉活動の要である地区社協・地区民協活動の支援に努めつつ、地域の社会資源を有効に活用しながら、高齢者や障がい者等要援護者の支援体制の更なる充実に努めます。

また、アナログとデジタルを融合させた、ハイブリッド形式の研修会の開催や、ホームページ、各種ソーシャルメディアでの情報発信を進め、様々な年代層に福祉への関心を高めてもらえるよう努めつつ、本会の特性である公平性・中立性・民間性を最大限に活かしながら、社会福祉協議会の理解者拡大と使命である地域福祉の一層の充実を図って参ります。

令和4年度 資金収支予算概要



目標① 支えあいの心を育む

住民一人ひとりが地域や福祉に関心を持ち、支えあいと助けあいの気持ちを高めていけるよう、地域福祉について理解を深めるための気づきと学びの場づくりに取り組みます。



取組紹介 福祉体験学習

小・中学校等において、手話や点字、車いす体験など、障がいについての理解が深められるよう、学校と連携して行っています。障がい当事者の方たちとの交流や、実際に手で触れて見て体験することを通じて、子どもたちの福祉観の醸成を図っています。

目標② みんながつながり参加できる環境づくり

人と人、人と地域資源が出会い・つながり合い、誰もが気軽に参加・活躍できる機会やしくみをつくるとともに、より多くの住民が主体的・積極的に役割を果たすことのできる環境づくりに取り組みます。



交流の様子 (写真は令和元年度)

取組紹介 いきがい交流センターしみず

松山市立清水小学校の余裕教室が活用されており、高齢者、地域住民と児童が集い、笑い、楽しむ場所として、日々交流が図られています。

令和4年4月15日で
開設20周年を迎えました♪

目標③ 丸ごと支援のしくみづくり

住民や地域の多様な主体が互いの生活課題や地域の福祉課題に気づき、共有する機会をつくるとともに、住民及び世帯が課題に直面したときには、地域住民による支えあいと公的な支援体制が連動しながら解決を図るしくみづくりに取り組みます。



幸風苑いきいきクラブ(和気地区)の皆さんの取組みを取材している様子

取組紹介 生活支援体制整備事業

高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことのできるよう、地域で支え合う基盤づくりを進めるため、生活支援コーディネーターを配置し、地域のニーズや、地域資源の把握などを行っています。

目標④ 福祉サービスの健全な発達と適切な利用促進

住民が福祉サービスについて正しく理解し、適切に利用できるよう住民ニーズの把握と情報発信を行います。また、サービスの提供者が、地域社会の一員として、積極的に地域づくりに参加できるよう環境整備に努めるとともに生活課題・福祉課題の解決に向けたサービスの質の向上に取り組みます。



施設長・管理者・リーダー研修会

取組紹介 介護サービス事業者調査事業

介護サービス事業者に対しアンケート調査を行い、そのニーズにあったテーマの集団研修や出前講座、また、ケアマネジャーを対象としたケアプラン作成能力向上のための研修を実施することで、介護サービス事業者の資質の向上、人材育成に寄与しています。